

公式試合記録



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名： 第34回 全日本大学王座決定戦・東西交流戦

試合番号 W2 備考 女子10回戦 年 平成 27 月 7 日 9 時間 09:30 場所 駿河台大学ホッケー場 ピッチ 人工芝 (W)

チーム名
早稲田大学

試合	3	-	0
(前半)	1	-	0
(後半)	2	-	0

チーム名
東京農業大学

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1		1	渡辺 彩加			
2	39	2	石倉 花恋			
3		3	中村 咲			
4	✓	(4)	八木澤 江里			
5	✓	5	瀧澤 育未			
6	✓	6	瀧澤 璃菜			
7		8	福井 更彩			
8	✓	9	井上 燦			
9	✓	10	小澤 眞帆			
10	✓	11	藤本 晴菜			
11		12	安達 里奈			
12	✓	13	戸枝 百合香			
13	✓	14	柏戸 萌子			
14		15	松本 月子			
15	✓	16 GK	南 有沙			
16		17	片柳 陽加			
17	✓	18	梅村 雅子			
18	✓	19	稲田 くるみ			

	先発	背番号	氏名	G	Y	R
1	✓	1 GK	柏木 朋子			
2	✓	2	岡迫 菜絵			
3	✓	3	大野 圭奈子			
4	✓	4	馬場 玲奈			
5	✓	5	千葉 初美			
6	✓	6	島村 陽郁			
7	✓	(7)	安井 明			
8	✓	8	平石 響子			
9	✓	9	堀 詩以奈			
10	✓	10	本橋 実奈			
11	✓	11	名執 今日子			
12		13	芳澤 あやか			
13						
14						
15						
16						
17						
18						

時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種	時間	No.	種
22	10	FG									
42	5	PC									
65	5	PC									

得点

時間	No.	種									

先行・後攻	10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	SO戦	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	先行・後攻	
											No.												
											○/×												

特記事項：

5	4	3	2	1	チャレンジ権	1	2	3	4	5
					○/×					

特記事項：

監督 安岡 裕美子

監督 吉田 一男

アンパイア 山田 恵美

アンパイア 大熊 穂高

Rアンパイア 渡邊 道彦

Sアンパイア

ジャッジ 富田 遥

Sアンパイア

ジャッジ 西島 陽子

T O 長田 和雄

公式試合記録【戦評】



公益社団法人 日本ホッケー協会

大会名: 第34回 全日本大学王座決定戦・東西交流戦

試合番号 W2	備考 女子Ⅱ回戦	年 平成 27	月 7	日 9	時間 09:30	場所 駿河台大学ホッケー場	ピッチ 人工芝 (W)
------------	-------------	------------	--------	--------	-------------	------------------	----------------

チーム名

早稲田大学 (東京都)

試 合	3	-	0
(前半)	1	-	0
(後半)	2	-	0

チーム名

東京農業大学 (東京都)

先発	背番号	氏 名	G	Y	R
	1	渡辺 彩加			
	39	2	石倉 花恋		
	3	中村 咲			
✓	4	八木澤 江里			
✓	5	瀧澤 育未			
✓	6	瀧澤 璃菜			
	8	福井 更彩			
✓	9	井上 燦			
✓	10	小澤 眞帆			
✓	11	藤本 晴菜			
	12	安達 里奈			
✓	13	戸枝 百合香			
✓	14	柏戸 萌子			
	15	松本 月子			
✓	16	南 有紗			
	17	片柳 陽加			
✓	18	梅村 雅子			
✓	19	稲田 くるみ			

先発	背番号	氏 名	G	Y	R
✓	1	柏木 朋子			
✓	2	岡迫 菜絵			
✓	3	大野 圭奈子			
✓	4	馬場 玲奈			
✓	5	千葉 初美			
✓	6	島村 陽郁			
✓	7	安井 明			
✓	8	平石 響子			
✓	9	堀 詩以奈			
✓	10	本橋 実奈			
✓	11	名執 今日子			
	13	芳澤 あやか			

ゴール	PS	PC	シュート		シュート	PC	PS	ゴール
1		2	4	前 半	4	1		0
2		2	5	後 半	6	5		0
				S O				
3		4	9	合 計	10	6		0

【戦評】

降りしきる雨の中東京農業大学のセンターパスにより試合がスタートした。早稲田大学は速いパス回しからのビルドアップで攻撃を行い、対する東京農業大学は卓越した個人技を中心に攻めていく。お互いに好機に恵まれながらもなかなか得点することができない。しかし10分前線で早稲田がボールをカットしそのまますると敵を抜き去り、豪快なリバースヒット叩き込み先制。東農大も負けじと8番を起点に左サイドから攻め込むが早稲田の堅守に阻まれてしまう。そのまま前半終了のホーンが鳴り、早稲田がリードする。後半が開始され一進一退の攻防が続く。早稲田は42分65分にも得点を重ね、東農大を突き放しにかかる。東農大も負けじと攻撃の手を緩めないが結局得点を挙げられず3-0で早稲田が勝利を収めた。